

# 部活動の地域移行・地域連携の進め方に関するガイドライン（概要）

2023年6月

## 公立中学校等の部活動をめぐる状況

- ・少子化が進む中、これまでと同様の運営体制では部活動の維持が難しくなっている。
- ・部活動が教師の長時間勤務の要因の一つとなっている。

## 国の動向（2022年12月文部科学省）

- 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」
- ・速やかに部活動改革に取り組み、持続可能な活動環境を整備する必要がある。
  - ・2023年度から2025年度までの3年間で改革推進期間と位置づけ、休日の部活動の段階的な地域移行・地域連携を進める。

県においても、国が示した改革推進期間中の市町村における休日の部活動の地域移行・地域連携を進めるため、ガイドラインを策定する。

## 市町村における地域移行・地域連携の進め方

### 方針の決定まで

- **地域の実情把握**
  - ・部活動の現状
  - ・生徒、保護者、学校、地域のニーズ
  - ・地域のスポーツ環境や文化芸術環境の全体像
- **運営に係る協議会の設置**
  - ・地域移行又は地域連携の方向性の決定
  - ・具体的な取組の内容、スケジュール等の決定
  - ・関係者に対する協議の進捗状況等の周知

※ 地域移行……学校の部活動について、地域のスポーツ・文化芸術団体等が実施主体となり、地域クラブ活動に責任の主体を移していくこと。

※ 地域連携……学校の部活動において、部活動指導員や外部指導者として地域の人材を活用したり、複数の学校で合同練習を行ったりすること。

- 【当面の課題】**
- ・施設の整備や適切な指導者の確保
  - ・家庭の負担への補助
  - ・民間委託した場合の指導者への報酬や施設使用料

### 地域移行を行う場合

- 参加者
- 運営団体・実施主体
- 指導者（指導者の質の保証、適切な指導の実施、指導者の量の確保、教師等の兼職兼業）
- 活動内容の決定
- 適切な休養日等の設定
- 活動場所
- 保険の加入
- 会費の適切な設定と保護者等の負担軽減など
- 学校との連携等

### 部活動の地域連携を行う場合

- 部活動指導員や外部指導者の活用
- 合同部活動の取組
- 学校種を越えた合同練習
- 地域のスポーツ・文化芸術団体等との協働・連携

※ 地域移行が困難な場合